

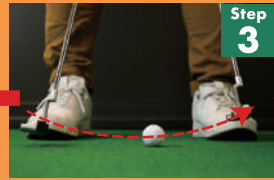
ゴルフ5のバターフィッティングは、専用の機器を使って打点のズレ、ストローク軌道、ストロークテンポなどを計測して特徴を診断。弱点をカバーできるバターの候補を複数提案することで、そのなかから好みの顔や打感のモデルを選ぶことができる

ストロークを分析して 最適バターを提案!

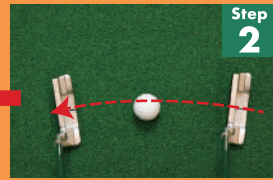
ゴルフ5
バターフィッティング
の流れ



Step 4
最適バターの候補を提案
マッチするバターの候補を提案し、試打して最適な1本を選べる



Step 3
ストロークテンポをチェック
ストロークのテンポを診断し、速さや振り幅の傾向などを分析



Step 2
ストローク軌道をチェック
ストローク軌道を診断し、アーキ型か直線的かを分析



Step 1
打点のズレをチェック
フェースに感圧シートを貼って5球試打し、打点のズレの傾向を診断



コレが
オススメ

オデッセイ

トリプル・トラック TEN

3本の平行線をデザインしたサイトラインが特徴。同じデザインのボールと組み合わせるとより効果大



ゴルフ5
地区担当クラフトマン
山田健太さん
担当地区の販売・フィッティング教育も行う、腕利きのクラフトマン。特に、バターフィッティングはゴルフ5内でも随一

“真っすぐ”をサポートして ショートパット強化!

ショートパットの方向性が悪い人はヘッドが大きくサイトラインが目立つなど、「真っすぐ」を意識しやすいバターがおすすめ

ショートパットの
方向性を揃えるなら

大型ヘッドバター

ショートパットが苦手な人は、大型ヘッドのサイトラインがハッキリしたモデルがおすすめ。真っすぐ構えて真っすぐストロークしやすく、狙ったところに正確に打ち出しやすい



しまっケースと、ショートパットの方向性に難があり大事なパットを決めきれないケースの2パターン。実はこれらはバター選びでかなり補うことができるんです。前者は打点がブレてボールを芯でとらえられないのが原因なので、慣性モーメントが大きく打点がブレても距離がバラつかないバターがおすすめです。後者はスクエアが乱れるのがおもな原因なので、大型ヘッドでサイトラインがハッキリしているなど、真っすぐを意識しやすいバターがおすすめです。

ゴルフ5のバターフィッティングなら、ストローク解析で自分の苦手もハッキリわかりますし、それを補ってくれるバターも見つかります。パット数を減らしたいなら、ぜひ一度バターフィッティングを受けてみてください!

あなたの弱点は **ショートパット?** **ロングパット?**

バター選びで 苦手克服 32パット

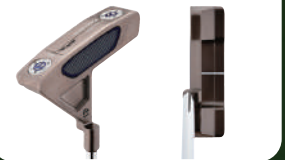


コレが
オススメ

テラーメイド

トラス TB1

三角形のネックがミスヒット時のネックのねじれを抑制しヘッドがブレにくいのでタッチが揃いやすい



ストロークの4割はパット

32パットで**70**台が見えてくる!

パッティングはアマチュアゴルファーのスコアの約4割を占めるという。つまり70台でプレーするためには、79の4割として32パットがひとつの目安となる。これには寄せワンを増やすのももちろんだが、3パットを減らすことがより肝心だ

32/79
||
40.5%!



打点のズレをカバーして ロングパット強化!

ロングパットのタッチが揃わない人は、打点のズレに強く、多少ミスヒットしても距離がバラつかないバターがおすすめ

ロングパットの
タッチを揃えるなら

大MOIバター

ロングパットのタッチが不安定な人は、慣性モーメントが大きいバターがおすすめ。多少打点がズレてインパクトしてもヘッドがブレず、距離や方向のバラつきが抑えられタッチが揃う



パットの「苦手」はバターで改善できる

パッティングはスコアメイクの要と言われるが、実際、ストロークの約4割をパッティングが占めるといふから、その影響は本当に大きい。

とくにレベルが上がれば上がるほどパットの重宝性は高まり、70台でプレーするにはその4割となる「32パット」がひとつの目安となる。

これを実現するには3パットを減らすことが急務だが、そのカギはパッティングの「苦手」をなくすこと。それにはもちろん練習も必要だが、バターを見直すことで大きく改善できるとゴルフ5の山田健太地区担当クラフトマンは言う。

「3パットの原因は、大きく分けてロングパットのタッチが合わずに長いセカンドパットを残して